

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	国語・国語総合		単位数	4単位	履修学年	2年
目標	言葉を適切に表現するために、基礎的な語彙の習得・表現能力を養う。そして、伝え合う力を向上させる。国語を通じて思考力及び心情を豊かにする。文章を読み、他者に共感ができる能力を育む。また、日本文化に対する関心を深め、言語を尊重する態度を育てる。					
使用教材	使用教科書 高等学校 改訂版 標準国語総合 第一学習社・特別国語（本校作成・語彙力養成教材）					
評価の観点	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(読む能力)	(知識・理解)	
	積極的に学習活動に参加する。 授業での発問、提出物で評価する。	論理性と、心情を理解ができること。 単元毎の小テストで評価する。	作文、短歌、俳句の作成に取り組めたか。 作品の提出とともに内容を評価する。	目的に応じて文章を的確に読み取る。 読んで、要約を行う小テストを実施。	語彙の知識および修辞の理解等ができたかどうか 定期考査や語彙力を育成する。小テストも評価する。	
評価方法	定期考査および、各単元ごとに小テストを実施する。また、提出物は平常点として得点化し、評価する。					
学期	学習内容		学習のねらい			
1	現代文 小説『最後の一羽』		<ul style="list-style-type: none"> <li>語り手の視点の動きに注意し、作品の構成を考える</li> <li>人間以外のものを主人公にした小説のおもしろさについて考える。</li> </ul>			
	現代文 短歌と俳句 <ul style="list-style-type: none"> <li>清水へ</li> <li>手毬唄</li> </ul> 佐佐木信綱顕彰会応募作品の作成 特別国語（本校が作成した語彙力養成教材）		<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの歌について、扱っている題材、表現のしかたテーマの特色について考える。</li> <li>各自の好きな短歌・俳句を選び、思い浮かぶ場面やイメージを原稿用紙にまとめる。</li> <li>について学ぶ。（品詞の種類・形容詞・形容動詞）</li> <li>短歌は、提出物として評価し、顕彰会に応募する。</li> <li>年間を通して取り組む。定期的に小テストを実施する。</li> </ul>			
2	古文 『平家物語』 「木曾の最期」		<ul style="list-style-type: none"> <li>軍記物語を通じて漢文訓読文体について慣れる。</li> <li>登場人物の性格や考え方について学ぶ</li> </ul>			
	古文 『奥の細道』 「旅立ち」 「平泉」 俳句コンテスト（三重県主催）の応募作品作成 特別国語（本校が作成した語彙力養成教材）		<ul style="list-style-type: none"> <li>芭蕉の旅程図を提示し、その足跡を学ぶ。</li> <li>俳文というジャンルに慣れ、その特徴について学ぶ。</li> <li>提出された俳句は、提出物として評価し、その後俳句コンテストに応募する。</li> <li>年間を通して取り組む。定期的に小テストを実施する。</li> </ul>			
3	漢文 史伝を読む		<ul style="list-style-type: none"> <li>返り点の種類と用法、再読文字、助字について復習する。</li> <li>作品の音読を繰り返しおこなう。語句の意味を調べる。</li> <li>歴史的な背景を理解する。</li> <li>故事成語について学ぶ。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「鶏口牛後」</li> <li>「先從隗始」</li> <li>「臥薪嘗胆」</li> </ul> 特別国語（本校が作成した語彙力養成教材）		<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して取り組む。定期的に小テストを実施する。</li> </ul>			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学期、定期考査に加えて、小テストを実施し、単元ごとの理解を確認しながら授業を進めていく。不十分と判断される生徒に関しては、補習をおこなう。</li> <li>週4時間の授業を、教科書による授業3時間、特別国語1時間に分け、平行しておこなう。</li> </ul>					